

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成 22年11月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670600156号
法人名	特定医療法人昴和会
事業所名	グループホーム風の丘
所在地	鹿児島県阿久根市赤瀬川379-1 (電話) 0996-72-7023
自己評価作成日	平成22年8月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年9月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

東シナ海に沈む夕日は絶景であり、左は薩摩川内市の甕島、右は天草を望み、眼下には阿久根大島を一望できる高台に立地している。風の丘での生活は尊厳を第一に考え、強制しない、自由な生活、心安らぐ生活を送れるように、健康管理面では訪問診察、訪問看護ステーションと連携を図り、職員も一緒に安らぎと喜びのある暮らしが出来るように支援している。また研修制度も整っており、知識や技術向上にも力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは眼下に東シナ海や阿久根大島が一望できる高台に立地し、利用者は景観の素晴らしさを満喫しながら、ホーム周辺の散歩を日課とした生活を送っている。医療法人を母体とし、敷地内の介護保健施設やデイサービスセンターとの交流、生き生きサロンでの地域住民との交流、また、散歩コースでの地域住民との挨拶や野菜・魚の差し入れがあるなどの交流ができています。利用者は介護度のレベル低下がないのが現状で、車椅子、ポータブル利用者は皆無である。当ホームの利用者は利用者同士の会話が多く、互いに刺激し合いながら、支え合う事が相乗効果となり、排泄、入浴、歩行の自立に対して「まだ、まだ自分は大丈夫」と思う心、社会性が存在している。職員もベテランの有資格者が多く、きめ細かい声掛けとケアが利用者の健康に結びついている。また、研修制度も整っており、職員間のコミュニケーションも図られ、向上心のある質の高いホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型の意義を踏まえた理念を作り、朝礼時に職員で唱和し理念に基づいて日々実践している。	玄関に法人の理念と職員全員で作成したホーム独自の理念を掲載している。地域密着型の意義を踏まえた理念、地域や自然に触れ合う暮らしの支援を実践している。毎月、ミーティングの中で理念について確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	いきいきサロン、その他の地域での行事がある時は参加し、日常的に散歩を行い挨拶は率先して行っている。	月1回、地域公民館での生き生きサロンに利用者も参加している。地域のボランティアの方も気軽に参加している。小学校の運動会の見学、保育園児との交流や実習生の受け入れもある。近く、認知症啓発の講話をする計画をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	いきいきサロンや運営推進会議等、認知症についての勉強会を開催できるようにしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回実施しており、事業所からの取り組みの報告等を行い、助言等は改善に向けて話し合い取り組んでいる。	会議は、利用者の状況や活動内容報告、行政や民生委員、地区住民代表者からの情報提供の場になっている。必ず議題を設けて内容に幅を持たせている。ホームの行事に抱き合わせて実施することもあり、家族会にて運営推進会議事録の公表をして、サービス向上に活かしている。	

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議、介護認定更時等または、必要に応じて連携している。</p>	<p>市担当者とは運営推進会議以外にも連絡を取り合い、相談や助言をもらい連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会を行い本人の行動を抑制することなく玄関等の施錠はしていない。</p>	<p>法人とホーム内で勉強会を行い、全員が、身体拘束の無いケアに取り組んでいる。施錠なしで地域の支援を貰いながら職員の見守りで、自由で安全な生活に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を実施して、尊厳を日々念頭に置き実施している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者が勉強会に参加し伝達講習を実施して理解を深めている。</p>		

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前後は時間を掛けて重要事項説明書を用いて説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族に対しては来居時や家族会時に問いかけ、利用者、家族の苦情、不満などは速やかに検討している。またご意見箱も設置している。</p>	<p>年2～3回家族会を実施し、意見を引き出せる雰囲気づくりに努めている。年1回家族アンケートにて満足度調査や担当職員が家族と個人面談を実施し、利用者、家族の意見をサービスに反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日ごろからコミュニケーションを心掛けており、月1回は会議または、必要に応じて職員の意見を出しやすい雰囲気を作っている。</p>	<p>毎月の会議や半年1回の個人面談にて、目標管理を行い、職員の意識向上に努めている。ヒヤリハット事例も小さなことから気づきを発表し、共有化を図っている。職員の意見や提案を運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>余裕を持った人員の確保をしており急な休みなどの時は交替できる体制を取っている。人事考課にて目標管理を行っており職員の意識向上に努めている。</p>		

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内ではレベル別研修を実施し、多くの職員が参加できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会にも入会して連携を図っている。近隣施設との交流を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者相談があった時は事前に面談で本人や家族の思いを受け止めて、安心してもらえるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の立場に立って求めている事を受け止め家族との信頼関係を築くように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の思いや状況等確認し受け止め、信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげられるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩であることを職員全員が共有し、尊厳を大切にしてお互いが協働しながら穏やかな生活が出来るようように場面づくりや声掛けをしている。</p>		

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしや出来事、気付きの情報を来居時、ホーム便りで共有し、本人と家族の絆が途切れないように留意している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービス、買い物、行事等の参加を利用して利用者と馴染みの人と会ったりする機会を作っている。	家族や友人知人の訪問、本人の希望に応じて自宅訪問や校区の運動会に同行し、なじみの関係継続に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員全員が入居者同士の関係を把握している。皆で楽しく過ごす時は気の合う方同士で過せる場の設定、場面を調整している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	主な退所先が入院であるため、面会に行ったり関係の継続を意識している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向に沿って柔軟な対応をしている。	家族からの情報や日常生活の関わりで表情や行動、会話の中から一人ひとりの思いを把握し、職員の気づきをもとに話し合い、介護計画にも反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用時に自宅に訪問して聞き取りをしたりご利用後も折に触れどのような生活であったか聞くように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを把握し行動や言動から感じ取り、職員全体が利用者の全体像を把握している。又職員同士の情報交換を密に行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	全員でケアプラン、モニタリング等をカンファレンスの中で意見交換を行い、利用者、家族のニーズを引き出し、サービスの反映に努めている。	モニタリングを3ヵ月に1回実施し、担当者会議にも家族の参加がある。ケアプランに「家族、地域との絆の維持ができる」の課題を設け、生き生きサロンへの参加、デイサービスでの地域の方々とのふれあいをサービス内容に掲げ、地域でその人らしく暮らし続けるための個別の介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルに日々の生活様子を記録し申し送りで情報の共有をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて通院介助や外出、外泊の支援をしている。また、訪問診察や訪問看護ステーションとの連携を図っており急変時にも対応できる体制をとっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	花見や外食、同法人での交流やいきいきサロンにも毎月参加し交流を大切にしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診察と本人、家族の希望に応じた医療機関を受診し対応している。	かかりつけ医の月2回の訪問診察と、訪問看護ステーションより毎週、看護師の訪問があり健康管理の支援が出来ている。専門医受診が必要な際は担当医からの紹介状を持参し、家族に同行受診をお願いしている。	

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護ステーションとの契約に基づき健康管理や医療面での助言、対応を行ってもらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時に本人への支援方法に係わる情報を医療機関に提供し、職員が見舞うようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人の気持ちを大切にしつつ、入居時にご家族にも意向を確認している。又、訪問看護ステーションと連携している。</p>	<p>入居の段階でホームの方針を説明し、納得してもらってから入居となる。終末期については現状としては事例は無いが、その都度、話し合いをもち家族の希望にそえるよう情報の共有化を図り、勉強会を行い支援する体制は話し合っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会を実施し、応急手当等のマニュアルを作成し実践できるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て避難訓練、消火器の取り扱いの指導を受けている。また夜間想定の実施も実施している。協力体制については近隣の方にもお願いしている。</p>	<p>年2回昼夜間想定で利用者、地域住民参加の避難訓練を消防署の協力を得て実施している。自主訓練の勉強会も行っている。法人の施設との協力、応援体制もできている。災害時の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄誘導時には耳元で確認しさりげなく声かけしている。一人ひとりに合った声かけで方言もあるができるだけ自尊心を傷つけないように又、尊厳を大切にしている。	理念に「尊厳と権利を大切にします。」と掲げ、理念に沿ったケアを実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定ができるような雰囲気作りをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはあるが、押し付けるのではなく一人ひとりのペースで日々暮らしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣は本人の意思で決めているが見守りが必要なきには手伝っている。自己決定しにくい利用者には一緒に考え支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日ではないがメニューは利用者と相談し、買い物、下ごしらえ、味付け、盛り付け、片付けなど一緒に行っており、職員も一緒に楽しく食事ができるように雰囲気作りをしている。好き嫌いがある利用者には特別メニューで対応している。	ホーム菜園で取れた野菜中心の食事と、時にはビールを飲んだり、外食を楽しんでいる。嗜好調査をして、好き嫌いの多い利用者には特別メニューで支援している。	

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作成している献立表に基づき食事を作っている。また水分、食事摂取量状況をチェック表に記入し情報の共有をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの必要性を職員全員で認識し、毎食後の口腔ケアの声かけ及び介助をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成しパターンを把握しさりげなく声かけ誘導している。個別に応じた排泄環境にて対応している。	排泄チェック表を作成し、パターンを把握し、さりげなく声掛け誘導している。利用者の大半が自立している。数名がリハビリパンツ使用でオムツを利用しているが、ポータブルトイレ使用者はいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を促すために水分、繊維の多い食品、乳製品などの摂取を心掛け、軽い運動や散歩などに取り組んでいる。		

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めてあるが希望時には何時でも入浴できる体制をとっている。拒む方は時間経過で誘ったり誘い方を工夫し、気持ちよく入浴できるように支援している。	基本的には週3回であるが希望があれば対応している。体調に応じて清拭、足浴も実施している。自立している利用者には職員の見守りで入浴を楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、活動を促し生活リズムを整えるように努めている。一人ひとりの表情、体調に考慮し休憩を促したり、不眠の方には湯茶、お菓子などの提供をし一緒に話し相手になって過ごしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容、副作用を把握できるように見やすい場所に掲示確認するようにし、臨時薬処方時は常に状態確認をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を発揮してもらえるよう、出来る仕事を頼み感謝の言葉を伝えるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の気分や天候に応じて日常的に散歩やドライブ、職員の用事で外出する際も声かけにて一緒に同行している。年間行事としても初詣や花見など本人の思いを聞き家族への声かけをして実施している。	化粧や「どの洋服にしようか」と、利用者は楽しく外出している。朝夕のホーム周辺の散歩、買い物、手作り弁当持参のピクニックなど、年間行事でも月1回は外出の機会を作っている。気分転換やストレス発散、5感刺激、生活リハビリの機会としての支援ができています。	

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の協力を得て小額のお金を持っている方もいる。ホームで管理している方でも買い物の際、支払いをしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の申し出により電話の取次ぎをしたり、年賀状や手紙など出すための支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じやすいように、花々を飾っている。音や光に不快がないように十分配慮している。</p>	<p>利用者同士は声を掛け、誘いあって天井の高い、明るいリビングに集まる。リビングにはソファが置かれ、テレビを見たり、利用者と職員の会話が弾む、ゆったりと1日を過ごす場所になっている。ウッドデッキから見る夕日は絶景である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関や廊下に、独りや気の合った方々でくつろげるようにソファが設置してあり、それぞれの方が自分の落ち着く場所で過ごしていただけるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホーム風の丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に馴染みの物を置いてもらえるように協力を得たり、家族の写真や花、鉢、カレンダー、時計等でその人らしく過ごせるように部屋作りをしている。</p>	<p>ベッド、タンスはホームの備え付けでなじみのもの、家族の写真、花、鉢、カレンダー、時計など置いてその人らしく過ごせる部屋作りになっている。利用者は寝具を押入れに片付け、居室は整然とし、昼間は全員がリビングで過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内はバリアフリーになっており、トイレ、浴室に表示をし混乱を防げるように工夫している。時計やカレンダーも見やすい位置に配置している。またその方の不安な材料を取り除けるようにスタッフで話し合いを行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム風の丘

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム風の丘

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない